

教留国 第 134 号
平成 29 年 11 月 22 日

各 部 局 長 殿

教育・学生支援部長
(公印省略)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団私費留学奨学生「春募集」について（依頼）

このことについて、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団代表理事から別紙（写）のとおり募集案内がありました。

ついては、募集要項及び下記に留意いただき適格者の応募書類を取りまとめの上、留学生課国際教育係あて 12 月 19 日（火）（必着） までに推薦願います。

なお、2018 年度に他奨学金の受給が決定している者ならびに申請中（直接応募含む）の者については、原則として推薦対象外とします。

記

1 応募資格

※詳細は募集要項を参照のこと

- ・ 2018 年 4 月に学部編入するまたは大学院正規課程に進学する者

2 応募書類

- ・ 財団募集要項、記入例および別紙「応募書類の作成留意点」を参照の上、遺漏のないよう作成願います。
- ・ 各種様式は財団ホームページ (<http://www.sisf.or.jp>) からダウンロード可能です。

3 留意事項

- ・ 2018 年 4 月に在籍予定の部局にて取りまとめ願います。
- ・ 上記期限までに合格を証明する書類が提出できない場合は、国際教育係へご相談ください。
- ・ 総長特別奨学生で推薦する場合、奨学金受給期間中の授業料免除申請は出来ませんのでご留意願います。

《 応 募 書 類 の 作 成 留 意 点 》

●作成基準日 2018 年 4 月 1 日現在

●提出書類 ※支給開始時の在籍課程にあわせて準備すること

学部生：1～3、5、8、9

大学院生（修士）：1～3、5～9

大学院生（博士）：1～9

1 奨学生申込書	別紙①	<ul style="list-style-type: none"> ・『留学生担当部署』欄は、記入しないこと ・【受付番号票】欄にも大学名と氏名を記入すること
2 履歴書	別紙②	<ul style="list-style-type: none"> ・「学歴」欄は研究生等の期間も記入し、なるべく空白期間のないようにすること ・「語学能力（日本語・英語・その他語学力）」欄は、<u>選考において重視されるため留意すること</u>
3 指導教員の推薦状	別紙③	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員により記入、<u>厳封</u>のこと ・日本語以外で記入の場合は、和訳添付のこと
4 評価書 ※博士後期課程のみ	別紙④	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員により記入、<u>厳封</u>のこと ・日本語以外で記入の場合は、和訳添付のこと
5 エッセイ	別紙⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・600 字の所定用紙をコピーし、指定要素をふまえ 2 枚分記入すること ・<u>※同財団奨学生経験者は「奨学生ページ」より専用のフォームを確認し作成すること</u>
6 研究計画書 7 研究実績 ※大学院生のみ	様式⑥ 様式⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・PC 入力可 ・本学用様式あり（任意様式での作成も可） ・資料Ⅱ「研究実績及び研究計画書の書き方について」に従い作成すること ・<u>それぞれ A4 用紙 1 枚にまとめること</u>
8 成績証明書		<ul style="list-style-type: none"> ・資料Ⅰ「学業成績表の提出について」に従い、<u>不足のないよう準備すること</u> ・それぞれの成績証明書の左上に、別紙②「履歴書-1」の「学歴」欄に該当する番号（1～7）を記入すること ・母国の証明書は和訳か英訳を添付のこと ・<u>用紙サイズが異なる場合は、縮小コピー等で A4 にあわせたものも添付すること</u>
9 在学証明書 合格証明書（写し）		<p>※期日までに合格証明書が出せない場合は、あらかじめ当係まで相談のうえ、発表予定日を明記したものを別添のこと（様式任意）</p>

※提出書類はすべて片面印刷、日本語・自筆（6,7 のみ PC 作成可）で作成すること

※部局において推薦状の内容を確認する必要がある場合は、それぞれ取扱いを考慮されるようお願いします。

※書類の不備・不足のないよう、部局にて最終的な確認をお願いします。